2024
06
Vol. 90

Monthly Report of Faculty of Architecture

東北工大建築学部通信

Since 1966-2020->>>

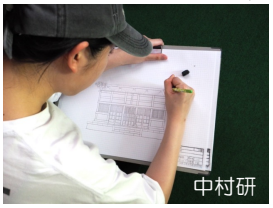
発行：東北工大建築学部　学部長　石井敏

Pick Up News

遅れた今年の梅雨入りですが、雨の少ない梅雨となっています。一方、九州・東海では局所的な大雨も続いているようです。災害はなかなか自分事にすることができません。海外はももちろん、国内の出来事さえです。画面の向こうの出来事がいつ自分たちに降りかかってくるか分からないのが災害です。本学部では「災害と建築」（４年生前期・選択）という科目を用意しています。災害（その後の復旧や復興まで含めて）を建築学のさまざまな角度から見つめ考える、数多くの災害を経験した本学およびその際に研究や諸活動に積極的に取り組んで来た本学部ならではの科目です。さて、前期も残すところあと１ヵ月で数回の授業と試験を残すところとなりました。特に１年生の皆さんは大学での試験や評価がどのようなものか、大きな不安もあることでしょう。基本的には、毎回の講義にしっかり出席し、その内容を復習しておけば問題はありません。授業の中での課題やレポートの提出が重視される、もしくはそれが試験の代わりになる科目もあります。欠席が多いと、試験の受験資格がなくなることもあります。しっかりと単位をとって後期に進むことが何よりも大切なことですので、今からコツコツと試験勉強を始めておきましょう。２年生は進級、３・４年生は卒業に向けて着実に歩みましょう！！

各研究室でのゼミ・研修活動：調査，フィールドワーク，実験などが進行中！

不破研


中村研

石井研

船木研

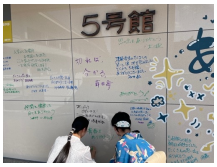
各研究室ではさまざまな形でゼミ活動が行われています。実験、調査、フィールドワーク・・・通常講義では得ることができない実践的で体感・体験的な学びができることが研究室活動の醍醐味です。

@TOHTECH_ARCH

在学生が学生目線で情報発信してくれています。
Please follow us!

解体迫る「５号館」

建築学科の学生の学びの場であった「５号館」。いよいよ建替えのため解体に入ります。直前の６月29日に卒業生ホームカミングデイ「ありがとう５号館・さようなら５号館」が開催されました。多くの卒業生が訪れ、懐かしい学び舎に別れを告げてくれました。 ありがとう！５号館(T_T)

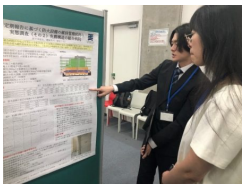


エスキースTシャツ着用者増殖中！！

留学の便り

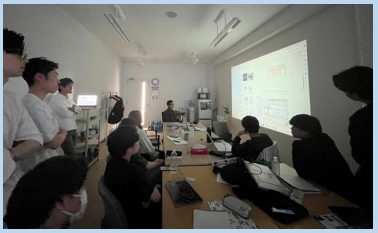
鈴木優芽さん（錦織研）は現在、フィンランドのアアルト大学に1年間の留学中。世界中からの学生が集まって実践的な教育を行う有名なWood Programに参加しています。日本では経験できないような学びをし、各国の建築学生との交流を楽しんでいるようです。写真はフィンランドの美しいオーロラと、学生たちで作り上げた今年の作品！

大学院生の学会発表：各学会で発表を行っています！



Pick Up Lab.

齋藤研究室はメインの活動として、解体再構築ゼミを行っています。はじめに論文を読み解き、構造的理解や学術的視点のインプットを鍛えたのち、実際に住宅というテーマに沿って言語以外の図式や造形によって自分で設計して落とし込む、というアウトプット活動の両方を毎週交互に行なっています。他の活動では、スポーツゼミやゼミ旅行といったメリハリのあるアクティブな活動も惜しまず楽しんでいます。プロポーザルやコンペの参加も自主的に、主体的に行っています。パワーのある先生と、士気高く、愉しく、あたたかいメンバーがたくさんいます。いつでも誰でもいらしてください！（大学院生秋葉美緒）


ゼミ風景

楽天ゼミ風景

３年 庄子 諒 さん
仙台城南高校 出身

Pick Up Student

大学での学習を通じて1年時には想像できない程様々なことを習得し、考えも豊かになりました。最近では先生方、先輩後輩との繋がりも増え、建築という概念の深さを痛感しています。工大建築学科の良い所は先生が優しく親身に対応してくださる所、先輩方を始め周囲も明るく優しい所だと感じています。担当ではない先生にエスキースをお願いしに行った際や、授業時間外に質問に行った際には嫌な顔ひとつせず対応してくださる先生ばかりです。新しく建築学を学ぶ皆さん、不安もあると思いますが、0からでも大丈夫です。私も大学で初めて建築を学びました。毎日コツコツ進みましょう。きっとこの大学時代は、より考え、疑問を持ち、行動した者だけが得られる何かがあるはずです。

１年 大内 奈美 さん
石巻工業高校 出身

Pick Up Student

大学へ入学して2ヶ月が経ち、新しい環境での生活に少しずつ慣れてきました。様々な環境から集まった友人たちからはいつも新しい刺激を受けています。最近は友人から手話を教えてもらっており、今までの自分では学ぼうと考えたことのない分野を知ることができるのはとても新鮮です。授業は高校とは異なり、自主的な学習が求められる場面が多く、毎日慌ただしく過ごしていましたが、今ではその自由さを楽しんでいます。特に、建築表現の講義では5cm×5cmのオリジナル模型を作るという課題があり、自身の考える「素敵な建築」のイメージを形にすることが楽しかったです。これからの大学生活の中でたくさんの建築に触れ、成長していきたいです。